

2025年3月期 第3四半期

決算説明資料

2025年2月13日

証券コード:4977

ハイライト

2025年3月期 第3四半期連結累計期間

- 1 2024年1月のNGU*生産停止影響により減収も、収益性は大きく改善
*ニッタゼラチンユーエスエーInc.
- 2 日本などでの業績好調もあり、営業利益は前年同期比2倍超に
- 3 為替差益3億円が発生し、経常利益は営業利益以上に増加
- 4 NGU閉鎖に伴う固定資産売却益を計上、最終利益も大幅増益を達成

2025年3月期 通期予想

- 1 好調な業績推移と、NGU固定資産売却益計上により、上方修正

連結損益計算書

北米収益改善、日本などでの業績好調により大幅増益

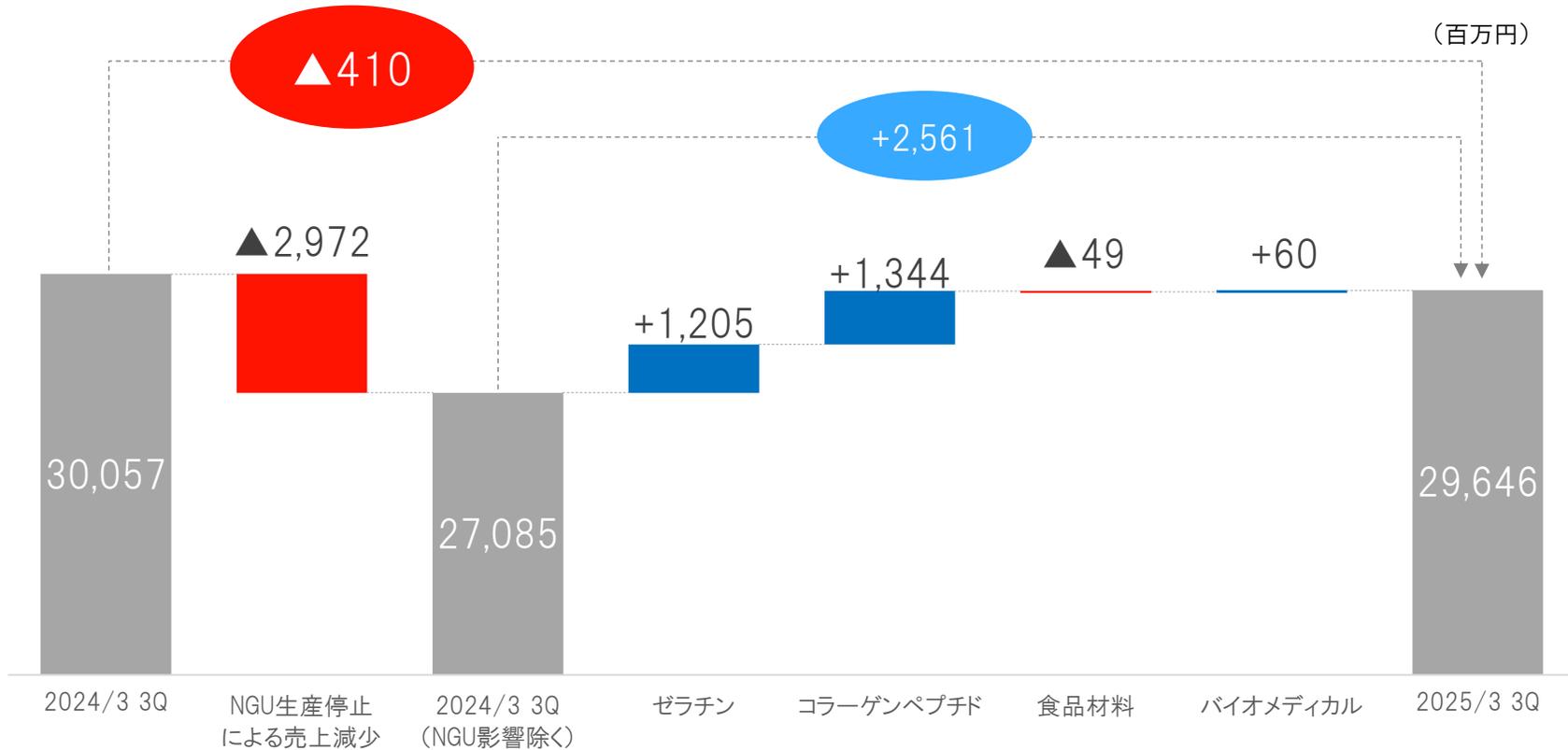
単位:百万円	2024/3	2025/3	前年同期対比	
	3Q実績	3Q実績	増減	対比
売上高	30,057	29,646	▲ 410	▲ 1.4%
売上総利益	6,306	7,661	+ 1,354	+ 21.5%
営業利益	1,541	3,193	+ 1,652	+ 107.2%
営業利益率	5.1%	10.8%	+ 5.7pt	—
経常利益	1,712	3,536	+ 1,824	+ 106.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 1,610	1,876	+ 3,486	—

営業利益以下増減要因

	(百万円)
為替差益	+308
固定資産売却益	+248
工場閉鎖関連損失	▲196
前期減損損失の反動	+1,762

連結売上高増減要因

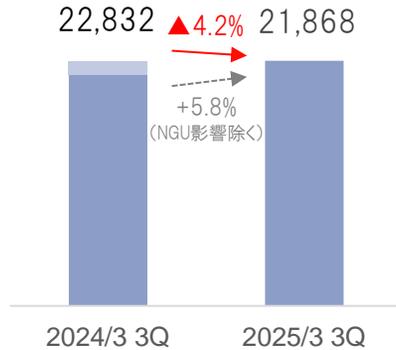
NGU生産停止影響を除いて、各製品区分とも順調に推移



製品区分別販売概況

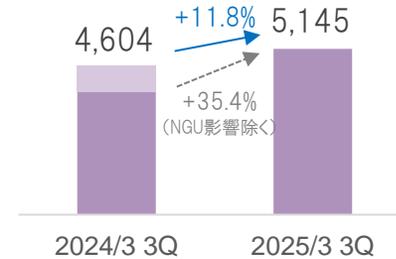
売上高(百万円)

ゼラチン



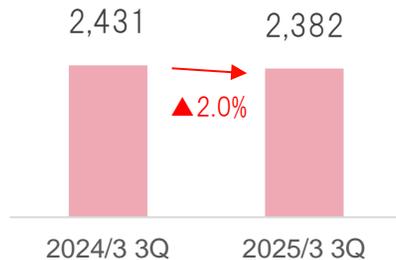
- 減収はNGU生産停止に伴う売上減少に拠るもの
- 日本でのグミキャンディー用、ソフトカプセル用、写真用等は引き続き好調
- 北米ではソフトカプセル向け牛骨ゼラチンが伸長

コラーゲンペプチド



- 日本は顧客商品の販売減により減収
- 北米では新規拡販により数量拡大
- インド、アジア市場は引き続き好調

食品材料



- 全体では減収も、収益改善進む
- 製菓・デザート用ゲル化剤が伸長

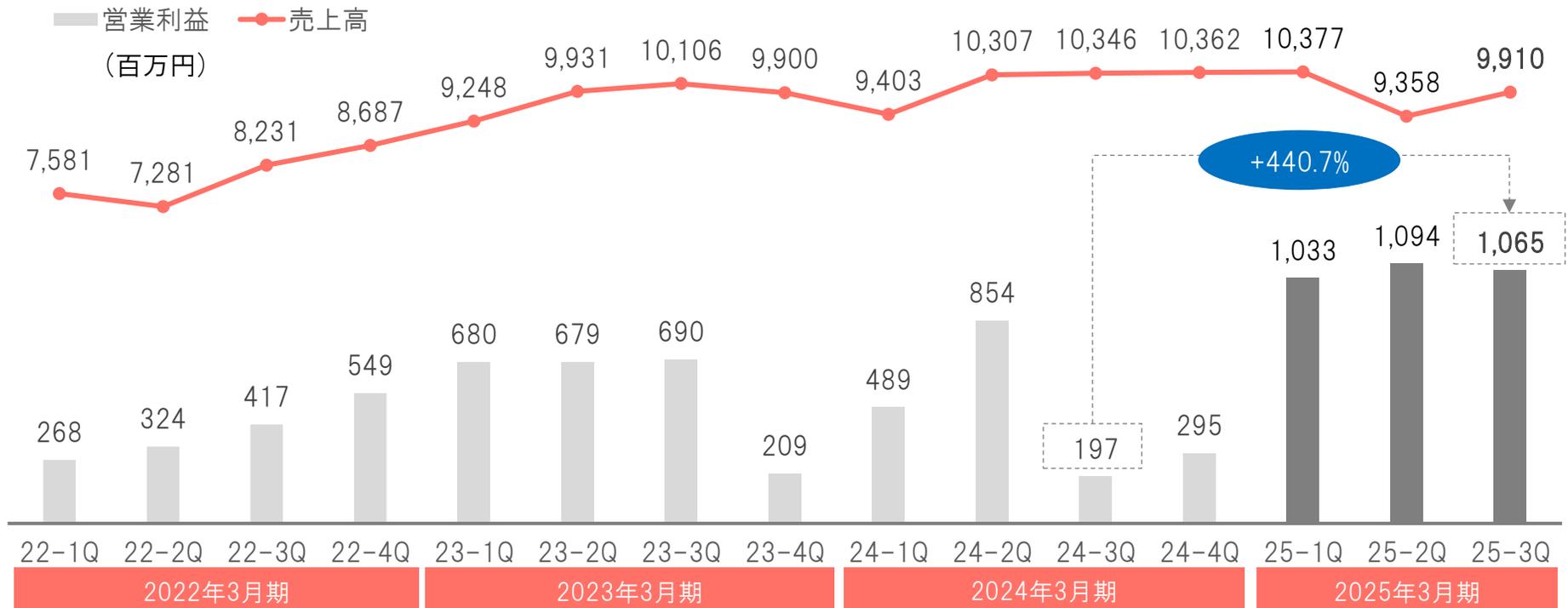
バイオメディカル



- 国内主要顧客への販売が伸長
- 海外の医用材料メーカーで2Qより取り扱いの始まった医療用ゼラチンの販売が順調に拡大

四半期別連結業績推移

収益性改善と販売好調により、高い利益水準を維持



2025年3月期通期 業績予想

好調な業績推移と特別利益の発生を踏まえ、通期予想を上方修正

単位:百万円	2024/3	2025/3	2025/3	前期対比		前回予想対比	
	実績	11/12予想	2/13修正予想	増減	対比	増減	対比
売上高	40,420	39,000	39,000	▲ 1,420	▲ 3.5%	—	—
売上総利益	8,289	9,900	9,900	+ 1,610	+ 19.4%	—	—
営業利益	1,836	3,600	3,900	+ 2,063	+ 112.3%	+ 300	+ 8.3%
営業利益率	4.5%	9.2%	10.0%	+ 5.5pt	—	+ 0.5pt	—
経常利益	2,382	3,400	4,000	+ 1,617	+ 67.9%	+ 600	+ 17.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,850	1,600	2,100	+ 3,950	—	+ 500	+ 31.3%

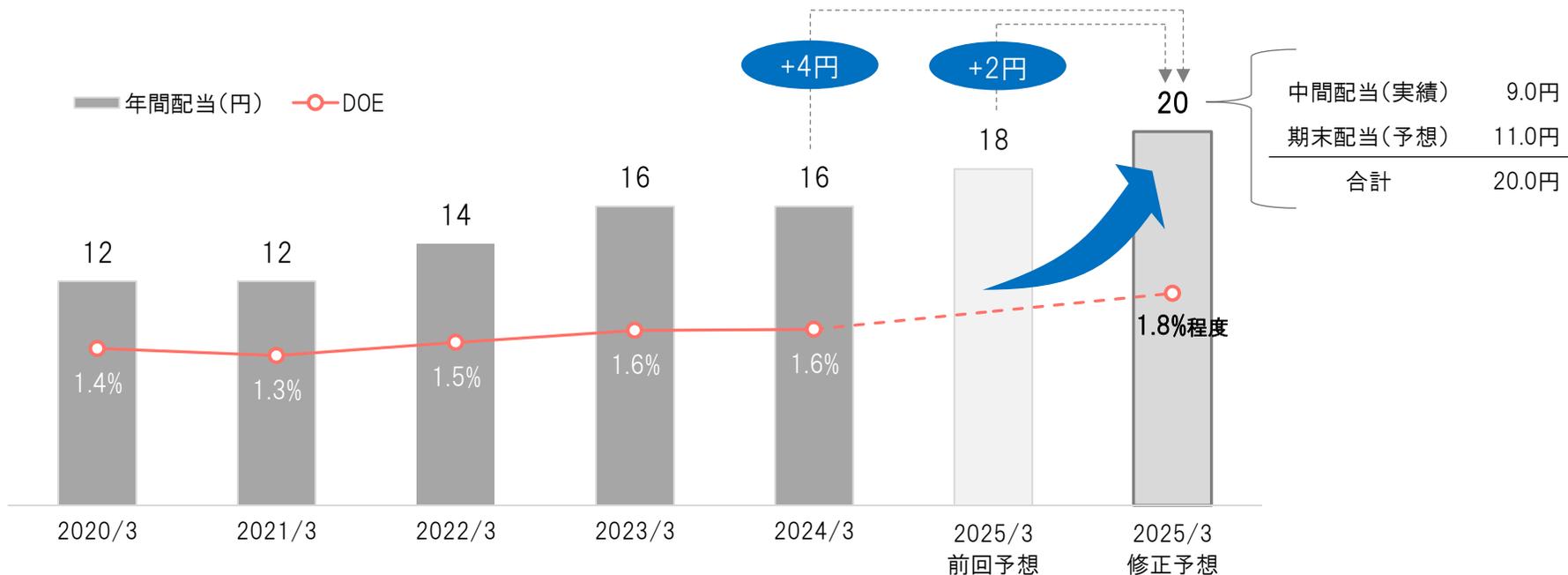
配当の状況

年間配当予想を、前回予想から2.0円の増配となる20.0円に引き上げ

配当方針

DOE(株主資本配当率)1.5%以上の水準を安定的に確保したうえで
本中計最終年度において2.0%以上に引き上げることを目指す

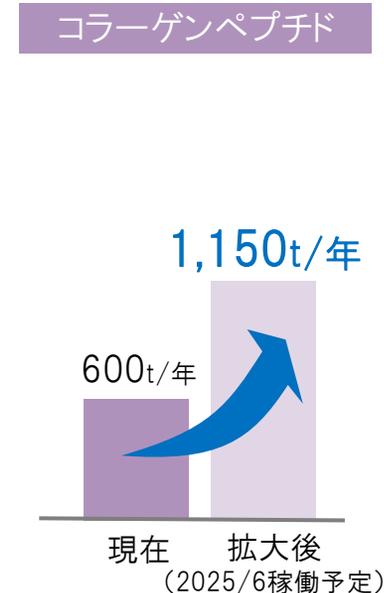
※ DOE(株主資本配当率)=配当総額/(純資産-非支配株主持分)



トピック

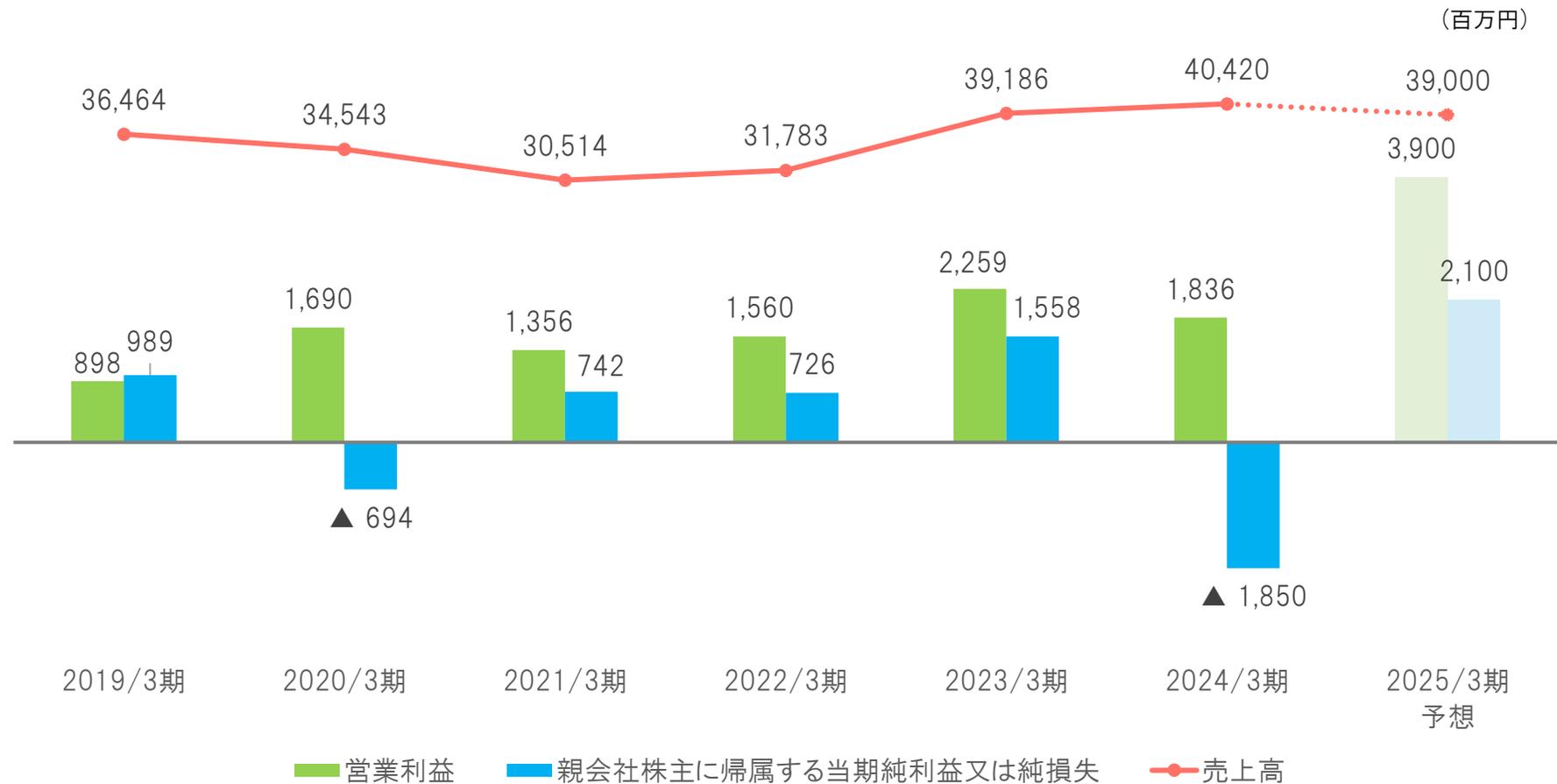
ニッタゼラチンインディアLtd.のゼラチン生産設備増強を決定

- インドでのゼラチン生産能力を6,000トン／年に拡大（2027年7月稼働予定）
- コラーゲンペプチドの設備増強も進行中（2025年6月稼働予定）



※牛オsein(ゼラチンの原料)の製造を行うバムニプロテインズLtd.は生産停止中だが、連結業績への影響は当期業績予想に織り込み済。
オseinはインド国内の別拠点で代替生産できるため、グループ全体の供給能力やグローバルでの成長戦略には影響しない。

(参考資料) 連結業績推移



(参考資料) 為替換算レート

◆第3四半期 連結累計期間

単位:円	2024/3 3Q実績	2025/3 3Q実績	前年同期 差異
米ドル	142.76	152.86	+ 10.10
カナダドル	105.80	110.92	+ 5.12
インドルピー	1.73	1.82	+ 0.09

◆通期

単位:円	2024/3 実績	2025/3 2/13修正予想	前期 差異
米ドル	144.40	154.08	+ 9.68
カナダドル	106.99	110.66	+ 3.67
インドルピー	1.75	1.83	+ 0.08

<ご案内>

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

新田ゼラチン株式会社

経営企画部 IR・広報チーム

【お問い合わせ】 <https://cloud.swcms.net/nitta-gelatinPublic/ja/ir/inquiry6.html>